

1 本年度の重点目標

1 教育課程の編成・展開と改善に努める
2 児童生徒一人一人の豊かな人間性や社会性を育て、心身の健康の維持・増進に努める
3 安全・安心な教育環境づくりに努める
4 地域に根ざした開かれた学校づくりに努める

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

※A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価項目		具体的な取組状況 ◎担当部署	自己評価		自己評価の 適切さ	改善策の 適切さ
			自己評価 結果	来年度に向けての改善方策		
1 教育課程の編成・展開と改善に努める	①児童生徒の人格を尊重し、一人一人の障害の程度や教育的ニーズ、発達段階や特性をしっかりと受け止めた個別の指導計画を作成する。	◎全学部，教務部 ・個別の指導計画の様式の見直し ・指導形態毎の指導展開例の整備と蓄積	B	・個別の指導計画について、今年度、様式を見直したことを受けて、記載内容の充実を図っていく。	B	B
	②個別の指導計画を基にした学習指導を充実させ、児童生徒一人一人の発達段階に応じた基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるとともに自立や社会参加に向けて必要な力を育む。	◎全学部，教務部，研究部 ・個別の指導計画を活用した学習指導の充実 ・校内研究における「自ら学ぶ姿」を目標とした学習指導の研究	B	・個別の指導計画に即して、児童生徒が自ら取り組める学習場面を増やしていくよう工夫する。	A	B
	③系統的な進路指導の充実や身に付けた力を生かすことができるような体験的な活動や集団活動等を教育課程に位置付け、主体的な課題解決の力を育み、自己実現を目指す。	◎全学部，進路指導部 ・系統的な進路指導の展開のための情報提供 ・各学部における校外学習の計画的な実施	C	・小学部保護者対象の「進路説明会」を実施する。 ・進路指導の流れや実習・手続き等に関して保護者に説明する機会を年度始めに実施する。 ・校外学習を計画的に展開することで，系統的な指導を目指す。	B	B
	④教職員一人一人の授業力や特別支援教育の専門性を高めるとともに，研究や研修に励み，資質の向上を図る。	◎全学部，支援部，研究部 ・外部講師を招聘しての校内研修会の実施 ・総合教育センターの研修等の積極的な活用 ・授業実践の積み重ねと授業力の向上	B	・よりニーズの高い内容となるよう，校内研修会や学部内研修会を充実させていく。 ・総合教育センターの希望研修等は可能な限り活用し，専門性の向上を図る。	B	B
2 児童生徒一人一人の豊かな人間性や社会性を育て、心身の健康の維持・増進に努める	①様々な教育活動等をとおして，コミュニケーション能力の育成や言語活動の充実を図るために，多くの人とかわる機会を設ける。	◎全学部，支援部 ・作業学習や就業実習における指導の充実（高） ・居住地校学習や学校間交流の充実	C	・高等部において作業学習を縦割りに改編し，他学年や他クラスとの交流を図っていく。 ・居住地校学習や学校間交流は引き続き実施し，内容の充実を図る。	B	B
	②体験的な活動や集団活動等を通して，社会の中で他者と協調しながら共に生きるために必要な実践的な態度や資質を育成する。	◎全学部， ・学校行事等での協働的な学びの実践 ・各学部における校外学習の実施	B	・学校行事のねらいをより明確にし，児童生徒の実態に即した活動を充実する。 ・校外学習を積極的に展開し，実践的な態度を育成する。 ・近隣施設における買い物学習や散策等の実施・報告について保護者に周知していく。	B	B
	③きめ細かな健康管理と外部専門家等の活用を推進し，心身の健康の維持・増進や向上に努める。	◎全学部，保健指導部，総務部 ・SC，OT，STなどの外部専門家との連携 ・校内研修会の充実 ・支援者会議やケース会議の実施	C	・児童生徒の心身の健康の維持管理について，外部専門家による校内研修等の充実を図る。 ・支援者会議やケース会は，事前に開催時間を明確にし，効果的に実施する。	B	B
	④健康教育を推進し，自らの健康や食習慣に関心を持ち，命を大切に自分で判断し行動できる児童生徒を育成する。	◎保健指導部，給食指導部 ・食育授業の実施 ・保健だより等による啓蒙	B	・現在はA課程を中心に栄養教諭が巡回していたが，今後，巡回クラスや回数を広げていく。 ・食育授業は引き続き実施する。 ・保健だよりの他に，掲示している献立表の視覚的工夫を行っていきたい。	B	B

評価項目		具体的な取組状況 ◎担当部署	自己評価		自己評価の 適切さ	改善策の 適切さ
			自己評価 結果	来年度に向けての改善方策		
3 安全・安心な教育環境づくりに努める	①学校の教育目標や方針，教育計画等の内容等を明確にし，学校教育目標の達成度や教育課程の実施状況等の公表に努め，学校評価等を充実させ説明責任を果たす。	◎全学部，教務部，総務部，学校評価委 ・学期末及び年度末の全体反省会の実施 ・通知表の改訂	B	・学校評価については，ホームページの改訂に伴い，公開できるよう検討する。 ・通知表の様式を改訂したので，今後は内容，表現等について改善に努めていく。	B	B
	②児童生徒が安心して学び，健全で情操豊かな児童生徒を育成するにふさわしい，美しく安全・安心な学習環境の整備と充実に努める。	◎安全指導部，保健指導部，事務部 ・定期的な安全点検の実施と修繕等における対応 ・職員清掃等による学習環境の整備	B	・定期的な安全点検は継続しつつ，急な修繕等についても迅速に対応していく。 ・職員清掃等により，日常的に学習環境の整備を図っていく。 ・エアコン，除湿器の設置については，父母教師会とも連携しながら，引き続き要望していきたい。	B	B
	③防災教育を充実するとともに，防災計画・危機管理マニュアルの見直しと改善に努め，実践的訓練を計画的に実施する。	◎安全指導部 ・危機管理マニュアルの改善 ・防災や不審者対応訓練の実施	B	・危機管理マニュアルのリーフレット化を行い，実践的な対応の充実を図る。 ・不審者対応訓練は，職員のための訓練も実施する。 ・外部講師（警察等）を招聘した校内研修を実施する。	B	B
	④医療的ケアの体制を整備し，ニーズに応じたケアを的確にかつ安全に実施するとともに，関係者間での連携を密にする。	◎全学部，医ケア検討委 ・医ケア対象の児童生徒への丁寧な対応 ・医ケアに特化した緊急対応訓練の実施とマニュアルの整備	A	・医ケア対象の緊急対応訓練を定期的に実施し，緊急時の対応体制を整えていく。	A	A
4 地域に根ざした開かれた学校づくりに努める	①家庭，父母教師会，地域社会，関係諸機関との連携を密にして情報を収集するとともに，ホームページ，学校便り，その他各種の便りを活用し，学校の日常の教育活動を積極的に公開する。	◎総務部，教務部，情報教育部 ・学校便り等の発行と配布 ・各行事や授業参観時のアンケート結果のお知らせ ・ホームページの改善と活用 ・父母教師会における地域版広報誌の発行 ・近隣町内会への行事（小松島福祉フェスティバル），仙台七夕祭りへの参加	B	・ホームページの更新は，個人情報に留意し，校務部や学部等と連携しながら，適宜更新していく。 ・予算・設備の面などから，各種便りをカラー等にするのは難しいので，ホームページの充実を図るなどして，学校での活動を分かりやすく伝えていくよう努める。	B	B
	②仙台市街は本校の学区＝地域＝教室であるにとらえ，地域の人材や施設・行事等の活用を積極的に図る。	◎全学部 ・外部施設・機関を利用した校外学習や宿泊学習 ・ALTや外部指導員を招聘した学習	B	・各学部において系統性のある指導を行うことができるよう，学校行事以外の校外学習を整理していく。 ・ALTや外部指導者を招聘した学習は引き続き実施し，充実を図る。	B	B
	③計画的，継続的な交流及び共同学習（居住地校学習，学校間交流，学部間交流等）を推進する。	◎小中学部，総務部 ・小中学部での居住地校学習 ・小学部での小松島小学校との学校間交流	B	・相手校との打合せの前に，交流の内容についての具体を担任間で検討し，対象児童生徒の実態を踏まえた内容になるようにする。 ・実施日が重ならないように調整しながら，コーディネーターも含めて校内体制を整える。	B	B
	④特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。	◎支援部 ・要請に応じた相談や講演	B	・外部からの相談については，迅速かつ丁寧に対応し，要請がであればできるかぎり支援していく。	B	B

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
①児童生徒一人一人の豊かな人間性や社会性を育てるために，教育活動全体をとおしてコミュニケーション能力の育成を図る。	・校内外において，同学年だけでなく異学年・異学部との交流にも積極的に取り組む。 ・体験的な学習などをとおして，多くの人と関わる学習機会を多く取り入れる。
②系統的かつ段階的な進路指導を構築のために，体験的な学習の機会を作ることに努め，地域人材や	・各学部において求められる進路学習を展開するため，学校全体で基本的な考え方について共通理解を図り，それに基づいた段階的な進路指導を実践していく。また，保護者に対しても発達段階を

施設の活用を積極的に図りながら、主体的な課題解決の力を育む。	踏まえた情報提供を行うよう努める。 ・都市部に位置する本校の特性を生かし、校外での体験的な学習や外部人材を活用した教育活動を積極的に展開し、児童生徒が主体的に学習に取り組む場を設定していく。
--------------------------------	--